

減災対策の主な取り組み

1. 危険情報の発信

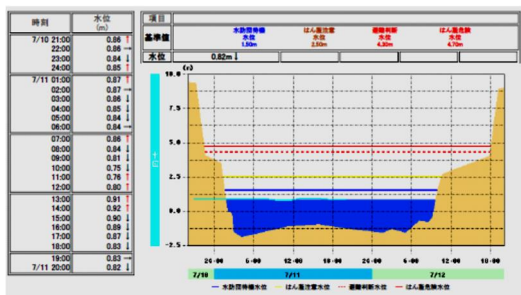
(1) 現況の情報

①河川監視カメラ

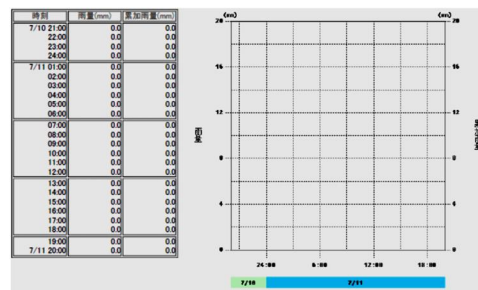
平常時の画像



②河川水位情報



③雨量観測情報



(2) 予測の情報

①洪水予報（洪水注意報・警報）

2. 情報発信のツール

- ①洪水ハザードマップ
- ②CGハザードマップ
- ③ひょうご防災ネット
- ④防災行政無線、ケーブルテレビ
- ⑤緊急速報メール



懸垂幕の掲示（兵庫県加古川総合庁舎）  
総合治水推進週間 5/15～5/21

3. 防災力向上

- ①防災リーダーの育成
- ②防災マップの作成・支援

**【取り組み事例】**  
 ◇地元住民が主体となって地図に避難経路等を記載したマップを作成(国土交通省では、マイ防災マップ作成の取り組みを支援)  
 ◇地区毎の防災マップ作成に取り組んでいる(三田市や多可町、丹波市等)

### ③ 避難訓練、防災訓練の実施・支援

#### 【取り組み事例】

◇地域住民と協働で避難訓練を主体とした防災訓練を行っている。  
(西脇市や篠山市等)

◇平成 25 年度の篠山市の主な訓練内容

- ・消防本部、警察、自衛隊、消防団合同孤立者救助訓練
- ・防災士などから、災害から身を守る術について講演を受ける。



訓練状況（篠山市）

### ④ 出前講座の開催

### ⑤ フェニックス共催

### ⑥ 学校カリキュラムとの連携

#### 【取り組み事例】

◇総合治水の普及啓発活動の一環として、学校カリキュラムと連携し、総合治水の模型製作や実験を実施する。(県立東播工業高校、県立農業高校など)



出前講座の開催（加古川市立平荘小学校）  
国土交通省と県の合同チーム 6/18